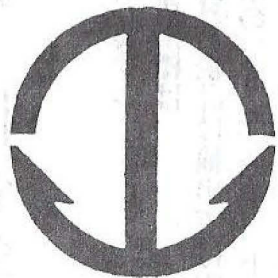


資源を無限に変えるチカラ。



東北商店有限会社
www.touhokushoten.com

非鉄金属
スクラップ買収

TOHOKU GROUP

東北商店有限会社

□本社
大阪市住之江区新北島5-3-16
TEL: 06-6683-8828

□南港事務所
TEL: 06-6613-8838

□千葉支店
TEL: 0436-76-7277

□名古屋支店
TEL: 0567-94-5688

東北エント株式会社

兵庫県姫路市網干区浜田1585
TEL: 079-271-5025
www.tohoku-ent.com

日刊メタルレポート

株式会社 日刊金属新聞社

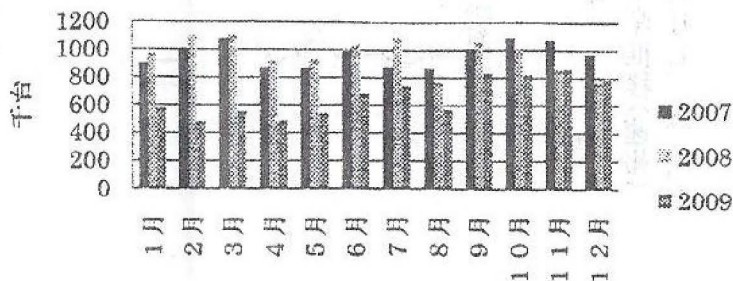
発行人 小林恒甫

本社 大阪市城東区蒲生1-3-7
電話 (06) 6932-5443 代表

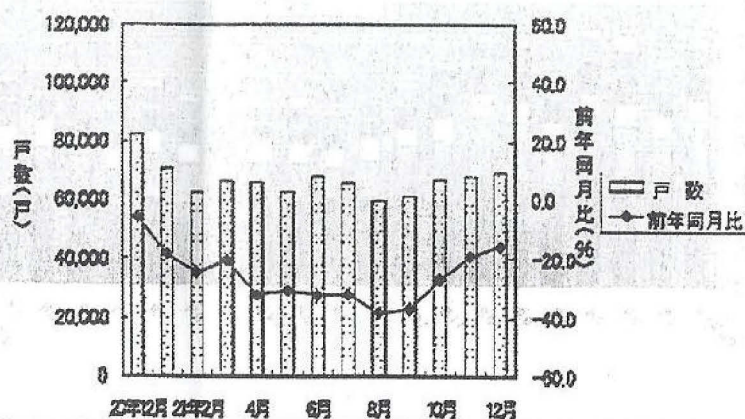
北陸支社 富山市曙町1-30-508号内
電話 (076) 444-6836

購読料 半年44,100円(前納) 3カ月22,050円

自動車生産実績



新設住宅(戸数・前年同月比)



橋本健一郎氏

輸入は電気銅が四八%減少

銅スクラップ輸出二三%増

橋本金属 アルミ 橋本健一郎氏リポート①

【概況】一月前半は、十二月の中国のGDP上方修正や自動車生産台数世界一達成を好感するも、景気回復に伴う出口戦略からの中国銀行預金準備率引き上げから、コモディティ全般が弱含みとなった。後半は中国の豪雪による電力の供給懸念や、十二月GDPが一〇・七%増と6四半期ぶりの二ケタ成長を好感したが、中国・インドの金融引き締め、ギリシャ債の格下げに伴うユーロ不安、アメリカの金融規制法案を受けて大暴落、カップ・アルミとも一月末日は日付変更の関係で現行水準を維持したものの、二月一日現在、銅建値は六六万円と六万円急落、銅スクラップも四〜五万円ほどの下落となった。

【十二月のマクロ指標】

日本自動車工業会発表によると、自動車生産台数は前月比八%減の七八万八、〇六七台(前年の前月比一五%減)。
また国土交通省発表の新設住宅着工戸数は、同一・六%増の六万九、二九八戸数であった(前年の前月比一四%減)。

(二面へ続く)

銅・同合金スクラップ相場続落も

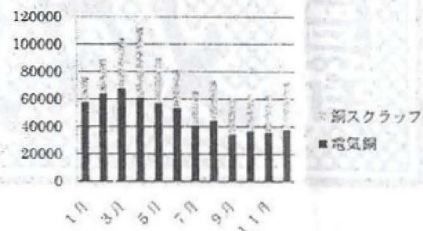
中国の更なる金融引き締め観測で

(二面より続く)

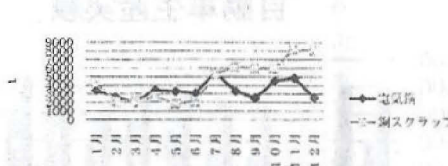
貿易関連指標は

財務省貿易統計は輸出では電気銅が前月比五・七%増の三万七、六九二トン、銅スクラップが同二三%増の三万三、九一九トン。
輸入は電気銅が同四八%減の二、五四六トン、銅スクラップが二・六%減の八、〇二五トン。

09年銅輸出推移

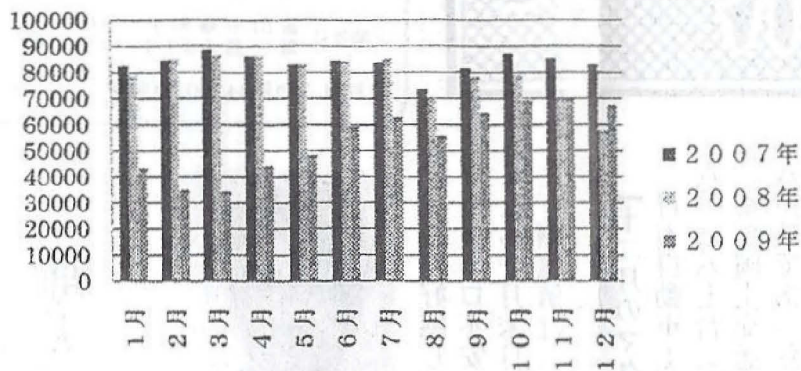


09年銅輸入推移



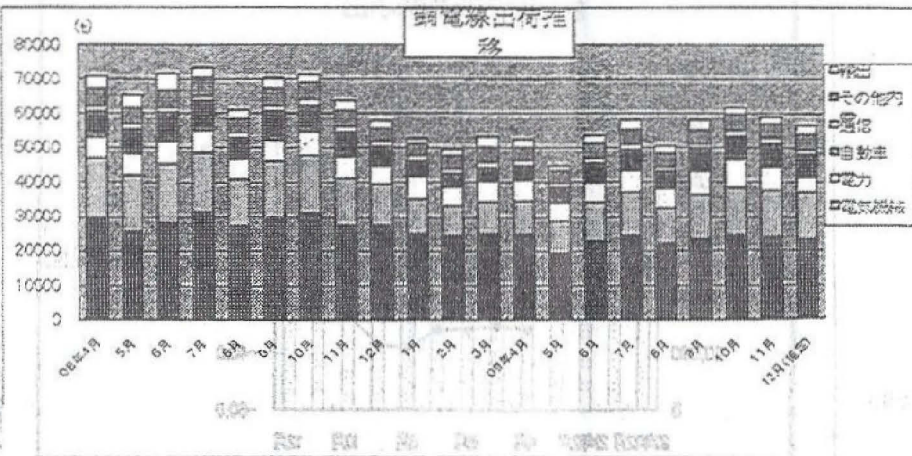
足元国内の指標に目を移すと日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば前月比三・四%減の六万七、五三〇トン(前年の前月比一七%減)。

伸銅品生産推移



日本電線工業会発表の出荷速報(推定)は前月比四・二%減の五万六、三〇〇トンであつた(前年の前月比九・三%減)。

銅電線出荷推移



【見通し】

十二月の伸銅品生産、自動車生産も前月比で下落となったが、十二月という季節要因や前年比では大幅上昇していることから、実質は生産数上昇と見ている。

また回復遅れのあつた新設住宅着工数とも四カ月連続で上昇していることから、本格的な回復感が台頭。景気回復傾向の中、価格差による中国輸出が急増しており、国内の在庫は潤沢とはいえず、トヨタショックやユーロショックがなければ原料は、銅・同合金価格については、銅建値ベースの銅・同合金スクラップは過剰流動性資金による急騰であり、金融緩和供給プランが予定通り行われ、一気に急落した。

二月一日現在、建値は六万円下げの六六万円となっているが、OILやその他商品のインフレ懸念が消えず、中国の金融引き締めがもう一段行われるとの予測から、銅建値で六三万円、スクラップでマイナス二万円程度を予測している。